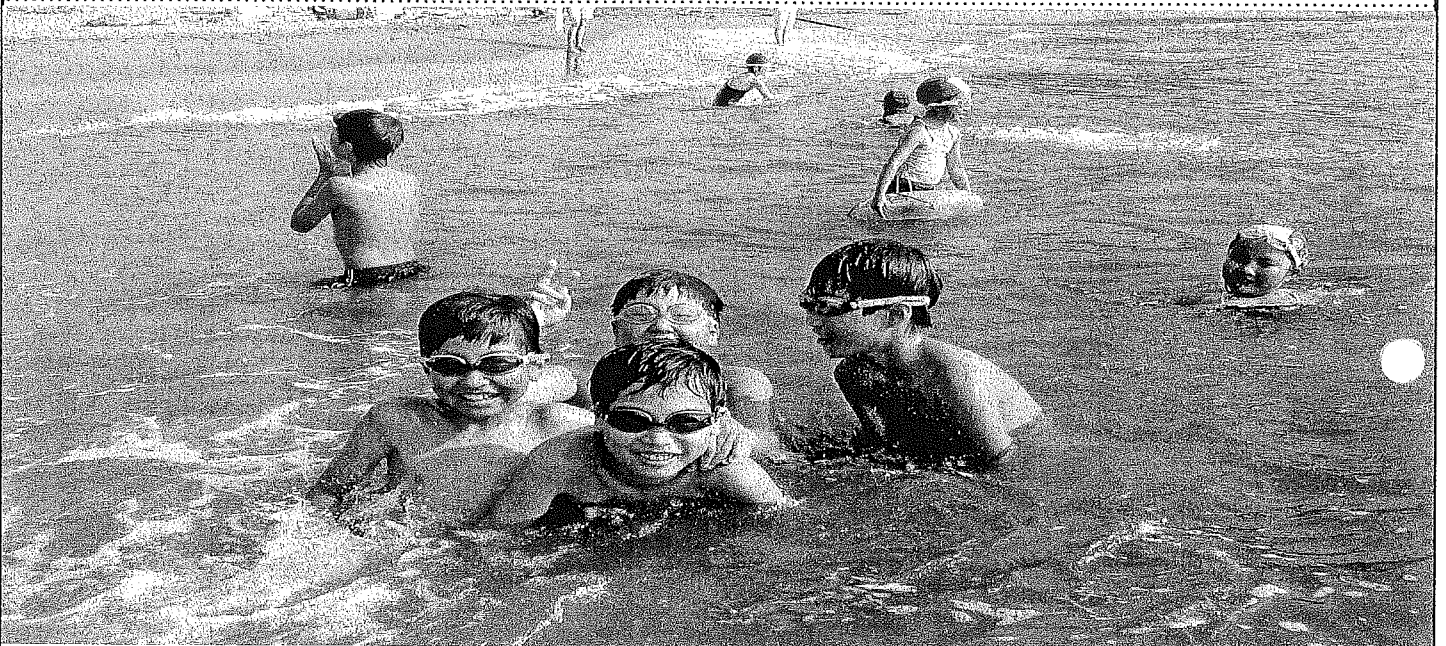


少年連盟だより

ののさまと いっしょ —だい10ごう—

発行 新潟教区少年連盟
〒940-2402
新潟県三島郡与板町
新潟教務所内
TEL 0258-72-2120
FAX 0258-72-2536



2005年のサマースクールを振り返って
新潟教区少年連盟会長 上山 善英

今年度のサマースクールも昨年度同様に寺泊郷
本海岸、見附市海の家「海海ハウス」で行われま
した。海水浴があまりに好評であったため、近隣
の使い勝手の良い海水浴場、宿泊施設を探したの
ですが、結果的に同じ場所になりました。新鮮味
に欠ける面もあったと思いますが、運営的に慣れ
た場所でしたので、アトラクションなど、昨年と
は違った試みがなされました。昨年、今年とキャ
ンプファイヤーをお任せすることが出来て、お任
せしたその方が自坊でもサマースクールを行って
いると言う刺激もあり、出来るならばいろんな人
にアトラクションを担当してもらいたいと提案し
たところ、積極的なご参画を頂く事が出来ました。
反省点も見えたことと思いますが、真剣に取り組
んでいただき、感謝しております。スタッフ充実
と共に自坊への還元できるサマースクールを皆さ
んと共に考えていきたいとおもいます。

キャンプファイヤーゲーム

を担当して

旭 勲

今回で二度目のアトラクション担当でしたが、一人で行なうのは初めてのため、いろいろ大変でした。まず前回同様、野外でのキャンプファイヤー時に行なうということで、いろいろ苦労しました。まず、今回は前回の反省をふまえ、メガホンを使い「声」についてはクリアーできたと思います。また、前回は無音で行いましたが、今回はBGMを流しながら行なったのも改善された点だと思います。聞こえていたかは不明ですが、(どちらも、もう少し大音量でも良かったかもです。あと今回感じたことは、やはり「暗い」「広い」という点です。目が行き届かないため、しゃがんで砂いじりをしている子がいたりして、集中させるのが難しいと思いました。他のスタッフの皆さんの参加、協力も必要だと思いました。(事前にアトラクション内容をスタッフに伝えた方がよかったと思います)今回で二回目でしたが、オフアールがあれ

ば、来年はMCアキラを越えるニューキャラで、夏的话题を独り占めしようと企んでいます。ではお楽しみに。

See you next summer!
「サマースクール、フウ!」



サマースクールアトラクション

を担当して
乙山 由紀子

教区サマースクールの参加は3回目ですが、アトラクションの担当は初めてでした。夕食前

の四十五分ほどの時間を、ゲーム、歌、お話でつなぎました。つなぎ部分をもっとスムーズにやれたら良かったなあという反省点があります。亀蔵(アシスタントキャラクター)とのかけ合いをもっとこんなふうにしたら子どもが乗ってきたかもしれないとか、一緒に歌えそうな歌をもう少し選んでおくとか、やろうと思つてやれなかったこともいくつかあります。はじめは大型絵本の読み語りをするつもりでしたが、動かしなくなつてヌイグルミを作り、バックも布を使って海のイメージにしまし



た。海海ハウスで絵本は「にじいろのさかな」だったので、アトラクション全体の構成を海と友だちというテーマにすることにしました。事前の打ち合わせ会議に出席できなかったので、出来るだけ一人でセッティング出来るようにしたつもりでしたが、主役の虹魚を壁に引っかけるためのフックが、開始直後に修復不可能くらいになってしまいました。スタッフや前に座っている子どもに助けられて話の進行をストップしなくて済みましたが、かえつてこのハプニングの生で、子どもが最後まで集中して聞いてくれたように思います。海の生物クイズのヒントも兼ねて、知っている魚の名前を言うコーナーは、答えた子のほかに「いるいる」とかけ声をかけてもらい、答えられない子も声を出して参加できるようにしたので、高学年は恥ずかしそうでした。今回担当して、今後若手女性スタッフの参加も考えた場合、食事担当だけでなく子どもと関われるアトラクションの一部、歌だけとか、ゲームだけなら担当できる人を育成する必要性を感じました。教区としての指導

者研修会を実施するなど誰でもいくつかの持ちネタがポケットにある、そんなスタッフ育成を望みます。子ども会設立準備中の寺院にとっても、お助けで前スタッフが教区にいると、とても心強いと思うので、課題の一つに加えていただきたいです。



子ども達の感想文です。
※原文のまま掲載します。

さますくる。

一年 たなか はやと
せんせいとあそんだこと。もとやませんせいとあそびました。

あだなにつーちゃん()けました。うみでこんぶとさんごをみつけました。ほてるできやんぷふあいや。うみべではなびをしました。

楽しかったサマースクール

二年 いからしれいな

わたしは、とまるおみせにいっつたらへやがどこにあるかわからなかったから、ひかるちゃんが「こつちだよ。」っていつてくれたよ。

うみで、かなこちゃんといかるちゃんといっしょに、あそんだよ。



よるに、キャンプファイヤーであきらがでてきたよ。

あきらのしょうたいは、あさひさんだとおもう。

うれしかったこと

三年 渡辺ひかる

私は、サマースクールでうれしかったことは、二つあります。一つめは、海水よくで、3ポイントの石をとってあめを三つももらったことです。

二つめは、知らない子と、仲良くなったことです。

楽しかったことは、他にもたくさんあります。

その中で一番楽しかったのは「あきら」と遊んだことと、萌チャンと遊んだり、バスにいっしょに乗ったりしてとても楽しかったです。

萌チャンのこともわすれないから、萌チャンも私のことをわすれないかな。

来年も来るのかな？

サマースクール

四年 高梨 那之

サマースクールでは、色々な出き事ができました。たとえば、海水よくや、花火などがありました。

とくに楽しかったのは、ゲームです。とくに、雨風嵐ゲームでした。色々な時によるというタイプがよかったです。そして、さいごのさようならゲームというのがむずかしかったです。二回や三回位まちがえました。

くやしかったのは、海水よくのスイカわりでした。よくきいてあたったのはいいんですけど、われなかったというのがくやしかったです。あ、スイカはすきです。

まえの日のゆうしよくはよかったです。今日のはきそうになりました。そして、

今日のお昼ごはんのそうめんは、すぐおなががいっぱいになるし、ものすごくきむくなりました。色々あつたけど、サマースクール楽しかったです。

サマースクールの思い出

五年 平澤 幸佑

ぼくは、今年楽しかったことが、昨年より多かったのでよかったです。

一つめは、友達が、昨年より多くつくれました。昨年は、4、5人だったけど、今年、5人以上友達が作れたのでうれしかったです。

たです。

二つ目は、海海ハウスで、スタッフの人全員と話しができたので、よかったです。

あと、さいしよに言われたスタッフの人と1ことは、はなして、くださいと言われました。最後それが、まもれたことが、一番うれしかったです。

サマースクールの思い出

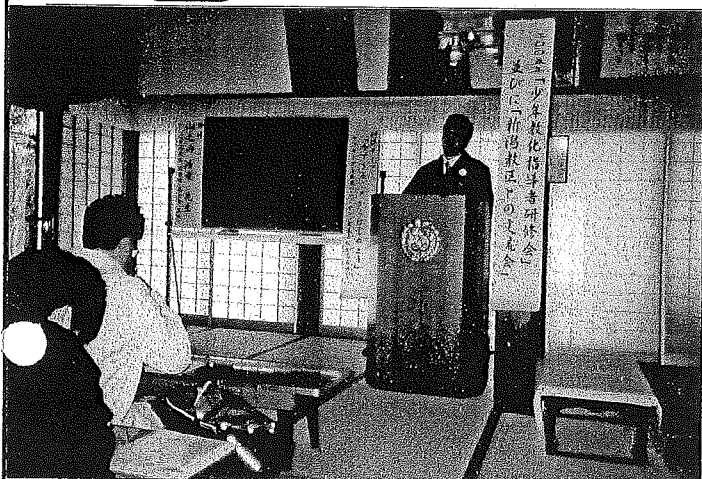
六年 和田 真江

私は、お寺の合宿と聞いて少しきんちようしていたけど、スタッフの人は親切で友達もでき、最高の思い出になりました。そのなかでも、海水浴はとっても楽しかったです。波が高かったのですがそれもおもしろく、今年はじめての海だったけど本当に楽しい海水浴になりました。夜、ねる前の友達とおしゃべりも楽しかったです。らいはいの歌など今まで知らなかったお寺の事も分かるようになりました。お世話になりました。ありがとうございました。感謝です。

東北教区との交流会ご報告

十月二十五日から二十六日に

かけて東北教区との指導者交流会が行われました。テーマを「今できることから始めよう」とし、当教区より山之内浩乗さんが講師として招かれ、講義の後、模擬日曜学校として、お話やゲームを体験すると言う形でした。その後温泉での食事を兼ねた交流会があり、東北教区のこれから子ども会を行おうとしている方の思いを聞き、教区の事情は違いますが、刺激を受けました。難しい点は沢山あるとおもいますが、交流を継続できると素晴らしいとおもいました。



編集後記

東北教区との交流会のテーマ「今できることから始めよう」と聞いて、色々とおもうことがありました。サマースクールをはじめ子ども会活動に決まった形はありません。「ゲームをしたことがない」「子どもに何を話したらいいかわからない」「(巡回班の) 学生さん達のようなことは出来そうもない」等々。お手本にすることはよいことかもしれませんが、その通りに出来ないからやれないでは、その

お手本はかえって有害です。教区に戻ってサマースクールに参加するようになって以来、キャンプファイヤーや、人形劇などのアトラクションをしてきましたが、正直なところ、毎年のこととなるとネタが尽きてしまいました。絞出すのに苦労してしまいました。サービス過剰と言われるかもしれませんが、同じようなアトラクション、サマースクールでは、子どもも飽きてしまふと思います。教区のサマースクールも昭和四十五年以来かなりの回数が開催されてきました。アトラクションを担当することは結構大変です。何人かでの出し物を計画しても、なかなか集まらないなど思いだけでは立ちゆかない面もあります。愚痴っぽくなってしまいましたが、子どもの頃「こんな遊びが好きだった。」と言うものがあるならば、大きなヒントになります。「もつとこんな事がしてみたい。」とたくさん出てきたら素晴らしいことです。担当した人が一番、子どもの笑顔を見てうれしいのです。私自身も含めて、なんか楽しいことを一緒に考え実践、交流し、それぞれの子ども会にとつてヒントになるようなサマースクールを目指したいです。